令和５年度

文学国語

１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	4	１２	4	2

教　科　書	学習書・副教材等
文学国語（東京書籍）	学習書：文学国語学習課題ノート（東京書籍）

学　習　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学　習　内　容　・　学　習　計　画

（１）随筆「光の窓」	（第１回レポート）	（１）～（５）前期試験範囲
（２）評論「言葉を生きる」	（第２回レポート）	
（３）小説「山月記」	（第３・４回レポート）	
（４）詩歌「永訣の朝」	（第５回レポート）	
（５）小説「鞄」	（第６回レポート）	
（６）随筆「国語から旅立って」	（第７回レポート）	（６）～（10）後期試験範囲
（７）小説「檸檬」	（第８回レポート）	
（８）小説「こころ」	（第９・１０回レポート）	
（９）詩歌「平気―正岡子規」	（第１１回レポート）	
（10）評論「演技する『私』」	（第１２回レポート）	

学　習　方　法

【レポート】
文学作品や評論、随筆が多く扱われています。教科書はもちろん、学習書を参考にして学習を進めてください。ただし、学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともあります。また自分の実体験に基づいて考え、解答する問題もあります。一つ一つの設問について自分自身の力で取り組みましょう。いくつかの問題に解答せずに提出した場合、努力して学習したとはみなさず不合格になる場合もあります。自分の力で答えを書こうとすることが重要です。レポートの表紙の裏の注意事項もよく読みましょう。

【授　業】
授業ではレポート問題の解説も行いますが、レポート以外の学習も取り入れます。主体的な学習活動も行いますので、授業に出席する前に教科書を読み準備してきてください。教科書・学習書を忘れずに持ってきてください。

【試　験】
試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。返却されたレポートを見直して試験に備えてください。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

レポートの評価、試験の成績を総合して評価します。
10 回のレポートすべてが合格し、授業に４時間以上出席し、試験の平均点が 30 点以上であるということが、単位認定の目安です。レポートの評価は以下の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

教科書をしっかりと読み、学習書を参考にしてレポートに取り組んでください。レポートの問題についてよく考え、無解答を残さないようにして提出しましょう。また、義務時数は多くはありませんが、日常生活に役立つ内容を学習するので是非出席してください。授業に出席してもわからない問題があるというときは遠慮せず質問してください。